

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	車両基地・貨物駅周辺整備対策事業	会計名称	一般会計		担当課	都市住宅課	
		予算科目	8 款 2 項 5 目	事業番号	3745	所属長名	三谷陽紀
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	小寺卓也	
法令根拠等	社会資本整備総合交付金、愛媛県車両基地・貨物駅等周辺整備対策補助交付金要綱				実施期間	【開始】	令和/平成 27 年度
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 住みやすい都市空間づくり					【終了】	令和 2 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	新しく駅が出来ることにより、周辺の交通量が多くなるため、安全な交通体系づくりを目指す。						
事業の対象	JR車両基地・貨物駅整備周辺住民	事業の目的		JR車両基地・貨物駅等整備による周辺地区への環境変化を軽減するため、道路等の整備を行う。			
事業の内容 (整備内容)	JR車両基地・貨物駅周辺の道路等の整備	昨年度の課題に対する具体的な改善策					

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)						
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1 年度予定	9月末の実績	1 年度実績	
直接事業費	10,534	110,498	△ 5,000	98,166	11,000	188,628	道路改良延長	m	28	60	0	51	
財源内訳													
国庫支出金	2,148	4,335	0	8,451	4,416	11,030							
県支出金	4,121	52,581	△ 2,500	44,730	2,080	88,202							
地方債	0	0	0	0	0	0							
その他	0	0	0	0	0	0	南伊予駅整備	箇所	0	1	0	1	
一般財源	4,265	53,582	△ 2,500	44,985	4,504	89,396							
職員の人工 (にんく) 数	0.10	0.10				0.20	駐輪場整備	箇所	0	1	0	1	
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992							
※ 直接事業費+人件費	11,332	111,297				190,226							
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)										1
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	5年間の合計			
					11,000								11,000
成果指標	指標	当該年度までの事業費÷全体事業費×100			単位	区分年度	前 年度	1 年度	- 年度	目標 2 年度			
	指標設定の考え方	実施計画に基づき工程管理を行ない、目標年度での完了を目指す。			⇒	目標	68	100	-	100			
	指標で表せない効果					実績	31	98					

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		道路整備及び駐輪場工事において、早期完了を図るが隣接地が田であり、工事着手時期に苦慮している。									
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	駐輪場工事において厳しい工程ではあったが、新車両基地・貨物駅等合同完成式典までに完成することができた。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	5						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	5						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげることができている。	5						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	5							
		コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	3							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性	<input type="checkbox"/> 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input checked="" type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 周辺整備事業については車両基地・貨物駅が完成、南伊予駅も3月14日に開業し、一部の道路整備は繰越事業となったが、今年度で事業完了となるため。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市が積極的に関与・実施すべき事業である。	4						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4							
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	2							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進につなげることができている。	2							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4								
	コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3								
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4								
所属長の課題認識		繰越となった道路整備について、早期の完成と供用に努め、地域の利便性の確保を図る必要がある。									

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	コメント欄	
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
<input checked="" type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。		